

平成25年度第5回 富士見市子ども家庭福祉審議会会議録要旨

<日時>平成25年12月26日(木)午後2時～3時50分

<開催場所> 市役所分館3階 会議室

<出欠状況>

関	矢島	石川順	増渕	林	加光	秋元
○	○	○	○	欠席	○	○
石川泉	島田	河本	松村	中村	吉原	細野
○	○	○	○	○	○	○
菅井	小栗					
○	欠席					

<事務局>

子ども未来部長 子育て支援課長 保育課長 子育て支援課副課長
 保育課主査 子育て支援課主事補

- 1 開 会 子育て支援課長
 あいさつ 子ども未来部長

2 議 題

(1) 協議事項

平成24年度富士見市次世代育成支援行動計画(後期行動計画)の
 評価について事務局より配布資料の説明・確認を行った。

【事務局】 前回評価いただいた部分を訂正したので、全体的に目を通して
 いただき、広報ふじみ3月号に取り上げる部分の検討もお願いしたい。

【会 長】 1ページ6番～21番まではいかがでしょう。

【委 員】 対象項目のなかでB拡大とB改善の評価結果については掲載し
 た方がよいと思う。

【会 長】 2ページ24番～34番は全てA評価となっている。3ページ
 44番～48番についてもすべてA評価である。

【委 員】 46番リフレッシュ事業というのは周知活動をもっとやった方
 がいいという意見があったし、47番の病児・病後児についても、
 今回掲載してさらに周知が図られるといい。

【会 長】 4ページ51番～54番についてご意見がある方。

【委 員】 このページに限らないが、今お話があったように周知事項や啓
 発的なものは取り上げた方がよいと思う。

- 【会 長】周知が必要な部分と啓発していきたい部分については、やはり重点的に掲載していく必要がある。
- 【会 長】51番、52番について、今後は延長保育時間をさらに拡大することも検討する必要があるとあるが、保護者が注目している問題だと思うので、今回掲載してほしい。
- 【会 長】それでは議題の（1）は以上として、引き続いて議題の（2）に入る。子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果単純集計結果について事務局より説明
- 【会 長】資料1、資料2について説明を頂いた。今、この結果からコメントするのは難しいが、事務局の説明から親の実情や変化についてうかがえたと思う。何か質問がある方。
- 【委 員】子育て支援について、結果をみて個人的にさびしかった。子育て支援センターを必要ないという回答が40%近くあって、なおかつこれからも利用しないであろうという人が45.6%もいて、自分たちの活動に矛盾を感じてしまう。
- 【委 員】子育ての現場で活動しているがそこへ来ているお母さんたちは支援センターが必要で来ているが、必要としていないという今回の調査結果は勉強になった。だが、その理由を逆に知りたい。
- 【会 長】広報関係を今どきのようになされているのか。
- 【事務局】広報関係というと、お子さんが生まれる時には情報量満載の子育てガイドブックを全員に差し上げている。ホームページにも掲載はしているが、広報では定期的な支援センターのページがあるので、そこでお知らせを載せている。情報を選択しているということもあると思う。今の若いお母さんは自分が必要な情報はすぐにとれる環境にあると思う。
- 【会 長】私たちの地域には定期的な回覧板が回ってきて、小中学校の状況を定期的に分かるし、集会所の催し物も分かる。そういったところにパンフレットを差し込めば、関係ない家庭もあるが、子育て真っ最中の家庭にも回るので、回覧してみてもいいか。
- 【委 員】子育て支援センターを利用しない数値が多くて残念という意見があったが、自分が子育てをしている時がどうだったか振り返ってみると、1人目の時と2人目、3人目の時、兄弟ができると、上の子の行事に行かなきゃ行けなくなったりして、行くことが少なくなったと思った。1人目の時は、はじめて富士見市に来たとか、周りにつながりがないとか、子育てのことがよくわからないとか、不安になってしまうお母さんがいることを考えると、必要ないという意見があっても、

これからお母さんになる人たちのためには、残しておくべきだし、利用しやすい環境をつくっておくことが大事なことだと思う。

【委員】まだまだ家庭にこもっている人が沢山いると感じている。そういった人たちにどう来てもらえるのかを伝えていくことが課題である。そういったお母さん達にどう働きかけていくのか、宣伝することの重要性を感じているが、その方法を皆さんと考えていきたい。

【委員】民生児童委員は1年に最低一回、どんなお子さんがいるか訪問している。ファミサポのパンフレットを持参しお声かけしている。

【委員】今の若いお母さんは情報をうまく利用している。さまざまな情報を抱き合わせることで、利用していない人や意識がない人の気持ちを向けさせることができるのではないかと。将来的にはメール等をもっと有効に活用してもらいたい。

【事務局】現在は、全学校・全保育所（園）で、災害時に使用するための防災メールを手上げ方式で登録してもらっている。今後はメールの活用についても検討していく。

【事務局】今回の就学前調査票には2か所、小学生調査票には1か所自由に記入するところがある。そういった自由欄の意見の中で保護者がどんなところで子育てに悩んでいたか、考えているのかもわかると思う。

【会長】時間も迫ってきているので議題の（1）と（2）は以上とさせていただきます。

3 事務連絡

- ・ニーズ調査の結果について、県を通して国へ報告する事となっており、この会議で提出した資料をもとに県へ報告。

- ・次回は2月12日（水）午後1時30分から

市役所分館 会議室

4 閉会 副会長より